

ポジティブに共創した宿泊学習

今回の宿泊学習では、「クラスみんなの仲を深める」ことを最上位目標として様々な体験活動を行ってきました。各活動においてキャプテンを決めて事前準備を行い、徐々に主体性が見られるようになりました。

クラスの合言葉は「ポジティブ足りてる？」でした。ハイキングや学年レク、宿泊を伴う体調管理などにおいて、お互いにこの合言葉をかけ合い、みんなで多くのことを共有できた2日間でした。自然とクラスメイトの距離も縮まり、目標であった「仲を深める」を達成できたように感じます。

学校行事が成功であったかどうかは、その後の学級生活で決まります。より仲を深めた生徒たちが、みんなでたくさんの挑戦をしていき、より成長していくことを願い、だるまを作成しました。

今回の学びをクラスで共有し、次なる課題へと1年5組「共創」の旅はまだまだ続きます。

以下に、生徒たちの感想を載せておきます。



最後の活動を終えての集合写真です。笑顔でポジティブにやり切りました！

「体験」から「経験」へ

集団行動や時間を守る大切さを学びました。今後は、しっかりと指示を聞くことを意識して生活していきたいです。この他、今回の宿泊学習で学校生活に生かせることもたくさんあったので生かしていきたいです。

(野澤 匡さん)

参加前は少し不安でしたが、部屋の中や色々な活動で交流して、話せる友達が増え、楽しく過ごすことができました。今後は、クラスで活動するときはクラス全体で協力するなど、今回の行動で学んだことをしっかりと表せるようにしていきたいです。

(片柳 綾音さん)

ハイキングは疲れましたが、みんなポジティブに歩いていて「最高のクラス」だと思いました。集団行動は悔しい結果でしたが、練習からみんな頑張っていて、私も一生懸命頑張ろう「絶対優勝したい」という気持ちになれました。

今回の宿泊学習ではたくさんのことを学びました。今後はもっと周りを見て行動できるようになりたいです。

(山口 彩乃さん)



だるまの集合写真も、みんな良い表情をしていて味があります。

